

明けまして おめでとうございます

あけましておめでとうございます。本年も皆様にとつて素敵な一年になることを祈念いたします。

さてご承知の方もおられるかもしれませんが、現在、西陣会では本部・児童館建物と奥にある市民福祉センター建物の建替えに向けたプロジェクトが進行中です。設計を担っていたく建築事務所のofa様と建替えプロジェクトのメンバーが、全ての職員・多くの利用者

や近隣の皆様のご意見も伺いながら設計案を固めてくれているところです。

昨年は、日本財団の建設助成プログラムに応募し、採択されることを目指し一生懸命取り組んでくれましたが、残念ながらの不採択となりました。建替えプロジェクトのメンバーを中心に意気消沈していた時期もありましたが、何とか予算縮小・当初建築案からの減築を、前向きに検討してい

ただいているところですが、今年度中には、建築案を確定し、二〇二六年度の工事着工に向けて準備を進めていきます。その内容も、単なる建替えではなく、新しい市民福祉センター活動の拠点として、近隣の皆様にも喜んでいただける建物と活動を目指していきたいと考えていますの

で、様々なご心配やご迷惑をおかけすることもありますが、よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。



こんな西陣だったらええなあ@学生ボラグループ

謹賀新年

統括責任者 土屋 健弘

センター
便り

絆
きずな

第204号

発行所

社会福祉法人
西陣会

HP: <https://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者:メンセディーク マーサ
編集責任:土屋 健弘

郵便振替口座
01030-5-23086



ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

心もおなかもいっぱい！ ごちやませ秋フェス

中山 あい

二〇二五年十月五日(日) 第三
回目の秋フェスが無事に終了しま
した。

職員が複数グループに分かれ、
趣向を凝らした数々の模擬店でお
でむかえ。大汗をかきながら熱々
鉄板で今年も焼きそばを作って下
さっためいぶるワイズメンズクラ
ブの皆様。「私たちが小さかった
頃、めっちゃ楽しかったから今度
はわたしたちが！」とプレインッ
トにいっぱいーの風船を

前日から膨らまし、『風船ルーム』
を用意してくれたのは中学生た
ち。学童っ子たちのステージに加
え、今年も「地活ふらっと音楽隊
♪」も帰ってきました!!会場を巻
き込んでのパフォーマンスには大
きな笑顔がひろがりました。今年
は三つの学生ボランティアグルー
プの参加やマジックショーも飛び
出して、様々にこどもたちを楽し
ませてくれました。

「ひさしぶり！」の懐かしい再
会の一コマあり、「はじめまして」
「これからもよろしく！」の胸ト
キめくひとコマあり、長年関わっ
てくださってきた方々とも新しく
つながってくださった方々とも、
みなでつくった秋フェスでした。
みんなのセンターがあるこの場
所で、いろんな人たちがごちや混
ぜになって過ごした秋の日。わた
したちは、大切なこの場所から誰
もが大切にされ、支え合える、み
んなの出番がある、地域を未来に
向かってつくっていきます。来年
は、この場所で最後の秋フェスに
なります。秋フェスを待たずして、
ぜひ「懐かしいセンター」にいら
してくださいね！



これがないと、はじまらない!!



帰ってきた!! 風船ネット



マジックショーにくぎづけ!



帰ってきた! ふらっと音楽隊♪

地域生活支援センター

デイセンターふらっと

多くの思い出

所長 本林 直人

大きな変化が始まる一年となりました。今の建物での活動も十二ヶ月あまりです。先日とある会で、今の建物が無くなることを深く実感する機会があり、寂しさを覚えました。デイセンターふらっとが始まって二十二年目、多くの思い出がある建物です。二階のホールで活動を始め、スタジオ（三階東側）は古いカラオケ機があり、懐メロを歌っていた時代もあります。和室（三階西側）ではさをり織りなど作業をしていました。始めて三年ぐらいは毎日のように外出していましたがね。二〇〇六年ぐらいに現在の

ユニット制を始めて、ホールでユニット1・2、スタジオ・和室でユニット3。二〇〇八年にユニット2が東館二階で活動を始めています。障がいのある人が活動するために作られた建物ではないので、正直使い勝手の悪い部分もありましたが、工夫しながら活動してきました。職員が頑張って手作りしてくれた備品もあります。思い出だけでなく利用者さんの作品や職員の手作りの備品などもあります。やはり多くの思い出の詰まった建物です。今始まった頃からの



楽しい待ち時間（デイ）

写真を眺めながら書いています。今の建物を壊すまでに利用者さんや関係者の皆さんと一緒に思い出に浸る時間を作れないかと考え始めています。建物が変わっても残しておきたいものや思い出など、改めて大切にしていこうと思います。利用者の方々とこの建物での最後の思い出作りを楽しくやっついていこうと思います。どう今年もよろしくお願ひします。

西陣会ホームとなり・きたまち

「障がいのある児童を取り巻く

現状と課題」に参加して

高田 恵里

十月二十四日（金）表題の会に支援者・親の立場として参加してきました。五歳の我が子は世界的にも非常に珍しい疾患があり、私自身、子どものために出来ることを模索する日々です。今回障がいのある学齢期の子をもつ親御さんが話されました。特に印象に残ったことは、小学校の普通級で三十人中八人が発達検査で何らかの診断を受けている現状。親も言われるが

まま進路選択をしているケースが多いも、学校や教師の知識や理解が追いついていないということでした。また別の登壇者の話では、役所や支援者に支援の増量等を相談すると、「児童は対象外。制度上無理です」と頑なで絶望したという話でした。制度の壁の高さや、前例がないと断られるのは本当に困った人が救われないと訴えられました。自分もそうですが、関係先職員が知識を増やし、親子が十分な情報の基で自己選択が出来る社会を作っていく必要があると感じました。

この会は【京都市居宅介護等事業連絡協議会】（居連協）の開催でした。居連

協が「子どもの地域生活支援体制の充実を求める要望書」を京都市に提出した報告と、京都市からの回答報告の時間もありません。

要望書の内容は、「障害児に対する深夜帯の居宅介護の認可」「放課後デイサービスの過度利用と卒業後の支援空白への対策」など七項目。京都市からは財政的に厳しいという返答が多い

も、支援者の立場で居連協事務局が要望書を作り、京都市に訴えて下さったことだけでも親としてはありがたいですし、こんな動きがあることを多くの方々に知ってもらいたいです。

他にも、障がいのある子もいない子も一緒に遊べる公園や、映画鑑賞の機会を作るべく活

動をされている親御さんの話も聞きました。

「生きにくい社会を変えたい」「ないなら作ろう」と取り組んでおられ、自身も支援者・親の立場で発信し、出来ないではなく、出来るための工夫をするのと、ご利用者・ご家族に寄り添い、周りと一緒に考えられる支援者でありたいと思っています。



休憩 (デイ)

ショートステイゆう

どこを向いてはたらくのか・

誰のためにはたらくのか

寺田 文

二年前から、事業における公益的な活動の一環として「自閉症eサービス@京都・滋賀」の事務局を担っています。自閉症eサービス全国ネットワークを中心にして全国十五ヶ所の地域事務局があり、自閉症支援を生活のすみずみに、を理念にして、座学や実践など様々な研修を企画・実施したり、支援者ネットワークの構築を担ったりしています。

私が当団体と出会い携わって十余年が経ちました。私が働き始めた頃は、インターネットやSNSも今のようには普及しておらず、他職場でどのような職員さんがどのような働きをしておられるのかという事

に意見をぶつけあって、出来たらイイなを実現している事を愚直に大切にしたい、支援者が学べる機会やネットワーク構築に寄与していきたいと思っています。どこを向いて、誰のためにはたらくのか。見失わないように気をつけたいと見失ってしまう自分が居るので、見失わないように心留めてはたらきたいと思っています。

来たらいいな」を話し合ったり、メンタル的なサポートをし合ったりの関係性があり、それが今でも繋がっている人が多く存在しています。



綱引き (区民体育祭)

支援センター「きらリンク」

未 来

相談員 箕 浦 佐知子

昨年、福祉実習に来られ

た学生さんに、カリキュラムの一部として、各相談員がお話をするという時間があり、私も機会をいただきました。三十八年の時間が経った私には、もうそこへは戻れない自分を意識させられて辛かったです。

ご利用者・ご家族様、支援関係者の方々から沢山のことを教えていただきながらここまで来ました。そのひとつひとつが大事なことばかりで、全てをお伝えするには時間が足りません。また、大事なことがかりでひとつに絞ることができません。

ました。

例えば電話一本の対応で、どのような点がお叱りを受ける元となったのか、その時の先輩からのアドバイス、どうリカバリーしていったのか。本当は掘り起こしたくないですが、二度と同じことや似たようなことを起こさないために、そういう辛いことほど大切に記録しています。

お一人おひとり違う内容のご相談を、大勢の方から伺うと、それはあらゆることに対応できるスーパーマンのような相談員が必要で、確かに優秀な相談員さんはおられますが、私はその人にはなれない。私のままを自分で受け止めて、私を叩き直しながら、できる

支援センター「つながり」

今、できること、考えること

主任 唐 井 周子

「お父さんがいなくなっ

たら、ひとりで暮らしていかなあかんねんで。」ご利用者のお父さんが、ご利用者に向けて話された言葉

ことを増やしていく、そういう相談員が目の前に有ります、とお伝えしました。

実習生さんはどのように感じられたのか分かりませんが、変な実習指導だなと思われたかもしれません。私がお伝えできる精一杯。

再雇用していただきますが、相談員人生も残り少ないです。

これから相談員になられる方がどんどん増えてくださることを願います。

です。

親なきあとの捉え方は人それぞれです。ご利用者のご家族でいろんな検討をつけて相談に来られる方、今は元氣だから、考えるのは何かあつてからかな…と思われる方、信頼している事業所と繋がれている方、あとは任せられると言ってください方もおられます。

ご利用者、ご家族のお感じになるペースに沿って、相談支援の立場からそのテーマに携わられれば良いなと思いつつ、お互いに関心と具体的な準備をしておく必要がある場面にも出くわします。
「暮らし」はたくさんの

要素で構成されていて、分解していくと、住まい、食事、調理、掃除、洗濯、ゴミ出し、家賃光熱費等の支払い、必要な連絡、日々の決定…等々。それが必要になったとき、ご利用者と相談支援だけでその準備を完遂させることは難しく、また「福祉」のみでも準備が難航します。ご親族、法律家、住宅に関わる機関等様々な分野の方の協力を得る必要があります、実は朝夕でこしらえることができず、誰しも生き暮らしていくには、お金、住まい、食事…諸々とその方が暮らしていく「意志・決定」が必要です。

今、ご利用者自身・ご家族だからできること、私にできること、一緒に考えられれば、と改めて感じています。

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

A Iと児童館

主任 鬼塚 義正



魔法のスティックをつくってるの!! (出前児童館)

皆さん、生成A Iって使ったことありますか？使ったことがある方はご存知の通りとつても便利なんです。誤字脱字チェックはもちろん、上手にまとめてくれたり、比較検討なんてお手のもの。写真をアニメ風に変えたり、ネット上の情報からおすすりめも分かりやすく教えてくれる。さら

には、音楽も画像もキーワードで作りに出してくれ！これはすごい!! 最適解が浮かばないから、三つ候補を教えると尋ねれば、その通りに応えてくれます。しかも、変な質問に対して嫌味を言うこともなく、すぐさま質問の視点を持ち上げてもくれます。

いくつか試しに「子どもとA I」というテーマを聞いてみると、おさえるべきポイントを三つ教えてくれました。

①教育(どう学ばに活かすか) ②安全・健全な利用 ③発達・心の影響と出てきました。懸念している点が載っていたことも興味深いと感じています。ぜひ皆さんも一度やってみてください。この部分どうすれば？家庭でできることは？なんて質問にも答えてくれることとでしよう？



ハロウィン工作 (パレード♪)



6年ぶり！全市やんちゃフェスタ (学童クラブ)

ただし、便利さの代わりに扱う私たちにとつてもどう付き合つていけばよいのか、情報を鵜呑みにせず有効に使うのは簡単なよう難しいと思つています。どんどん当たり前になつていった場合、特に子ども達にとつて、「追及していく力」や「自ら導き出す姿勢」が育つのだろうか気になります。

冒頭でA Iの便利さもありますが、様々な場面での遊びや学童での本読みの瞬間に見られるような、答えを求めずに想像し、集中して直接感じる「生の体験」の繰り返しこそが、自分を作り上げる上でかけがえない機会です。人とぶつかり、自分の気持ちと折り合いをつけ、行動を選択するという対人コミュニケーションの経験は人生を豊かに過ごすための土台になるのでしよ。 児童館というたくさんの人との出会いと体験の場で、子ども達の声を聞き一緒に作り上げ、生成A Iといふとても強力なツールを上手に使いこなしていくことでもっと「おもしろい」体験ができるのだからと思



活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

10月

- 2日 内定式
- 5日 西陣会秋フェス
- 6日 月曜集会
- 8日 ステップアップ研修
- 12日 合同説明会
- 16日 嘉楽区民体育祭
- 24日 建て替え意見交換会
- 27日 POE調査(18日)
- 27日 上京の朝カフェ(西陣児童館遊戯室)
- 27日 KATARIBA 食堂#6
- 27日 月曜集会
- 27日 安全衛生委員会
- 27日 産業医面談

- 13日 職員交流忘年会
- 16日 建て替えワーク
- 19日 ショップ報告&新設計プランお披露目会
- 22日 キヤリアパス&人材育成計画推進委員会
- 22日 ステップアップ研修
- 22日 ③発表会
- 22日 安全衛生委員会
- 22日 産業医面談

【デイセンターふらっと】

10月

- 6日 ユニットリーダー会議
- 25日 オクトーバーフェスト

11月

- 10日 ユニットリーダー会議
- 14日 生活介護等事業連絡協議会
- 17日 強度行動障害支援者養成研修(18日)

12月

- 6日 デイ職員全体会議
- 8日 強度行動障害支援者養成研修
- 10日 強度行動障害支援者養成研修
- 15日 リフレッシュ研修
- 15日 ユニットリーダー会議

【居宅サービス係】

10月

- 5日 居宅職員会議
- 14日 ヘルパー研修会
- 17日 サ責会議
- 20日 北の勉強会
- 24日 居連協定例会

11月

- 9日 居宅職員会議
- 11日 上京ねっと
- 11日 第40回国際障害者年連続シンポジウム(居連協)
- 21日 サ責会議

12月

- 14日 居宅職員会議
- 19日 サ責会議

【西陣児童館】

10月

- 2日 ドリームチルドレン
- 16日 乾隆小学校運営協議会
- 18日 出前児童館『ハロウィンパーティー』
- 25日 京都やんちゃフェスタ・京都版ミニ・ミュンヘン

11月

- 18日 ほっこりにこにこトーク
- 22日 出前児童館『風と遊び』
- 29日 大学生による遊びと昼食イベント『みんなでひるごはん』

12月

- 5日 ふれあいトーク二条中
- 6日 児童クラブ保護者交流会
- 19日 月イチサーズデイ『クリスマスコンサート』
- 24日 やんちゃクロス
- 25日 こどもが考えるクリスマスイベント
- 26日 他児童館等との交流行事(ドッジボールとゲーム)参加

【きりんく】

10月

- 2日 医療観察ネットワーク連絡会「京ねっと」
- 3日 北部自立支援協議会運営会議
- 6日 障害者虐待防止検討部会
- 14日 北部自立支援協議会
- 22日 支援センター部会
- 23日 基幹センター会議
- 28日 障害支援区分審査会
- 28日 北部自立支援協議会全体会議

11月

- 11日 北部自立支援協議会
- 11日 児童養護自立支援連絡会
- 19日 北部自立支援協議会
- 19日 夜のNOON交流会
- 22日 北区こころのキャンパスネットワーク実務者会議

12月

- 9日 北部自立支援協議会
- 16日 児童部会医療的ケア児ネットワーク
- 16日 基幹型支援センター
- 18日 研修事業北部圏域相談支援事業所座談会
- 20日 北部自立支援協議会全体会議
- 20日 京都府「」事業パンコン応用講座

【こっこく】

10月

- 2日 中部自立支援協議会事務局会議

11月

- 6日 中部医療的ケア専門部会
- 10日 相談支援従事者初任者研修(7日まで)
- 16日 相談支援専門員スキルアップ研修
- 28日 相談支援専門員カフェ地域課題研究会

12月

- 1日 ひきこもり支援調整会議
- 5日 中部自立支援協議会事務局会議
- 8日 虐待防止マネージャー会議
- 8日 相談支援従事者初任者研修
- 11日 中部医療的ケア専門部会
- 17日 支えあいの会
- 19日 上京ネット実務者会議

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。

その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

◎10月2日(木) 来春より入職予定3名の内定式を行いました。法人として一緒に働く職員が増えることに喜びと希望を感じています。

◎今年も、京都めいぶるワイズメンズクラブの皆様から、販売ご案内をいただきました。皆様にはたくさんご購入の協力をいただき、誠にありがとうございます。

◎京都めいぶるワイズメンズクラブの皆様には、西陣会秋フェスでやさそばとドリンクコーナーの出店にもご協力していただきました。また、秋フェスへの支援金としてご寄付もいただきました。色々な形でいつもあなたかのお支えをいただきまして感謝いたします。



▲めいぶるさんへ
いつもありがとうございます!!



子どもたちもカレーランチでいただきました♪

◎10月12日(日) 嘉楽区民体育祭に職員とご利用者さん、ボランティアさんと参加させて頂きました。リレーなどたくさん競技に参加させて頂いたことができました。

◎10月14日(火) 銭形グループ代表取締役の上野様より新潟の新米60キロをいただきました。西陣会の様々な取り組みで活用させていただきます。

◎10月24日(金) KATARBA 食堂#6を行いました。約50名の方に来ていただきました。チキンカツやポテトサラダなどのメニューと銭形グループ様からいただいたお米と共においしく味わう時間をみんなで過ごさせていただきました。

◎10月24日(金) 上京朝カフェを西陣児童遊戯室で行いました。上京の様々な方々と情報交換をさせて頂きました。西陣会の建て替えについてもお話させていただきました。

◎10月25日(土) 妙覚寺にて開催された西陣オクトーバーフェストに参加させて頂きました。天気は良くなかったのですが、大盛況でやさそばとフランクのお店を出店して大変多くの方にお求めいただきました。

◎11月2日(日) 嘉楽わっしょいに出店させていただきました。やさとりと餃子をふるまわせていただきました。地域のたくさんの方々と触れ合うことができました。

◎11月9日(日) 西陣マルシェに出店させていただきました。やさそば・フランク

フルト・飲物などを販売と射的ブースのお手伝いもさせて頂きました。大学生のボランティアの方々にもご協力いただきました。

◎11月17日(月) 建て替えチーム職員が千葉エルピザの里へお伺いして建物見学をさせていただきました。大変学ぶことの多い有意義な時間となりました。

◎12月13日(土) 地域の方々に向けて建て替えについての報告会を行いました。

◎12月13日(土) 西陣会の職員交流忘年会を行いました。

今後の月曜集会の予定

1月26日・2月9日・3月9日・3月23日

・通常は19時から開催しています。

ご連絡の上、ぜひお越し下さい。



住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて (075) 451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

- 法人本部
- 京都市民福祉センター
- 地域活動支援センター ふうとつと
- 地域生活支援事業
- レスパイトサービス
- TEL (075) 451-1897
- FAX (075) 451-1570
- 西陣児童館
- TEL (075) 451-1897
- FAX (075) 451-1570
- 西陣会居宅サービス係
- 相談支援事業所きずな
- 西陣会ホームとなり
- 西陣会ホームきたまち
- TEL (075) 417-3400
- FAX (075) 441-1529
- デイセンターふうとつと
- シヨートステイゆう
- TEL (075) 417-3400
- FAX (075) 441-1529
- 京都市中部障害者地域生活支援センターにしじん
- TEL (075) 417-1630
- FAX (075) 451-1369
- 京都市北部障害者地域生活支援センターきらりリンク
- TEL (075) 751-1066
- FAX (075) 751-1077